

A Plan for Eniwa, Hokkaido, Japan



FLOWER Hotel for All

Hotel for All FLOWERS
 ~すべての人に花のホテルを
 すべての花のためにホテルを~

1. 恵庭市の概要

恵庭市は200万都市札幌市と新千歳空港を持つ千歳市に挟まれ、北海道西部に位置しています。ぜひ地図を見てみてください。

ここ恵庭市で季節ごとに見せる光景は多くの人を魅了し、特産品である花で魅せるまちづくり、「花のまちづくりプラン」で注目を集めています。専門家による数々の造園を試みたり、オープンガーデン(一般市民のガーデンを一般公開すること)を広く普及させたりとその活動は多岐に渡っており、中でも「花の拠点 はなふる」は花と共に生きる恵庭市において、必要不可欠な役割を果たしています。えにわガーデンりりあ、はなふるキッチンカーの出店、様々な個性をもつガーデンエリアなどに代表される活動は、はなふるを中心に行われています。さらにはここでは観光業活性化のため、宿泊施設設備事業が推進されています。

2. 問題提起と花ふるの位置づけ

市民へのアンケート調査(「平成30年度恵庭市市民意識調査結果報告書」)を見てみましょう。恵庭市の住民の94%が住み心地をポジティブに評価しています(図1)。一方で、「これからも恵庭市に住み続けたいと感じますか」という質問はどうでしょうか。年齢別にみると若年層、職業別では学生が「ずっと住み続けたい」と回答した割合が17.1%と低いことが分かっています。また、「今後も恵庭市に住み続けたい理由」として、「娯楽、スポーツ、学習などを楽しむ機会」「公共施設の整備」「雇用環境の整備」等が下位にランキングされており、これらが恵庭市の魅力の創出に繋がっていないことが窺われます(図2)。以上の結果を踏まえると、若者世代を中心としたニーズに対応する創造的かつ大胆な施策と、幅広い地域産業活性化及び雇用創出が期待できる仕掛けづくりが解決策になるのではないのでしょうか。



図1 あなたにとって「恵庭市」の住み心地はどうか (n=1047)

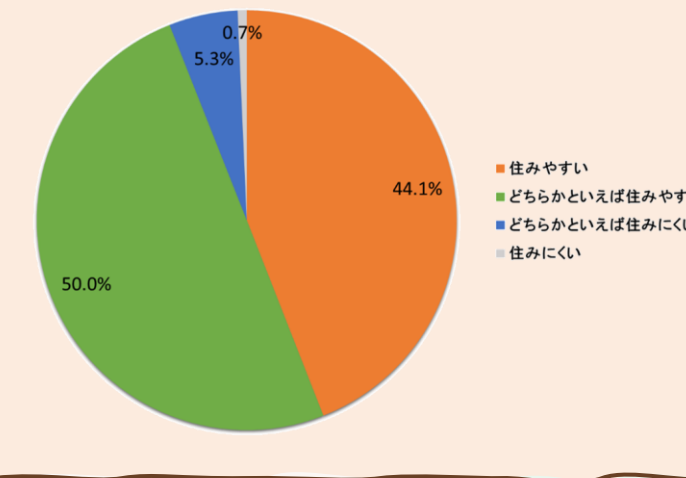


図2 あなたが今後も「恵庭市」に住み続けたい理由は何ですか (n=948)

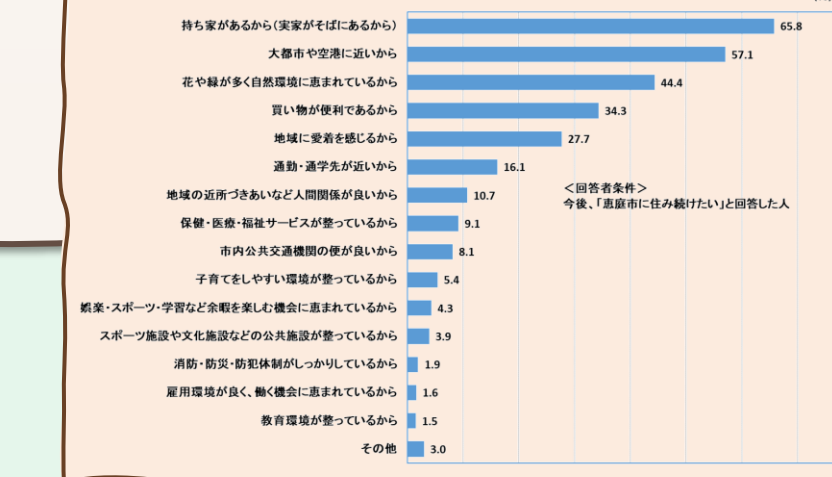


図3 年齢階級別人口移動の推移

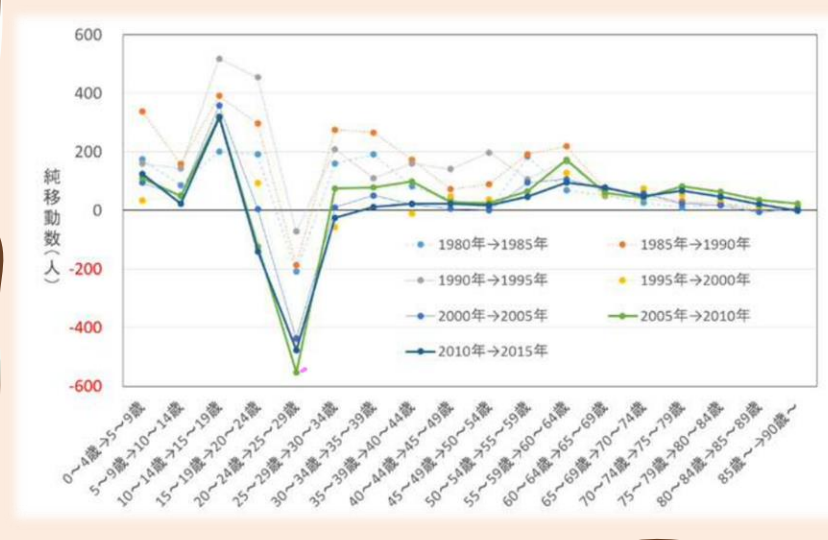


図4 北海道の主要市別昼夜間人口比率

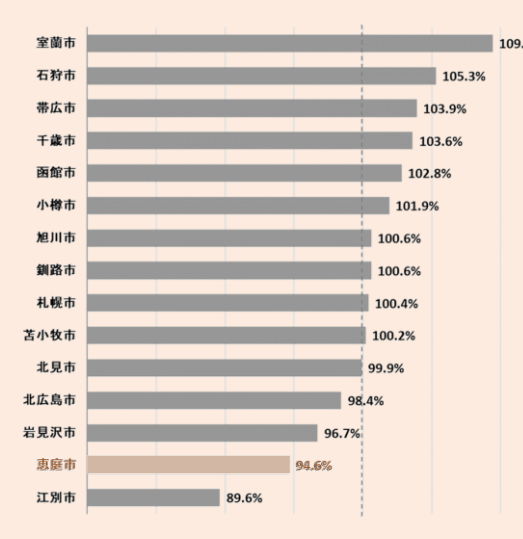
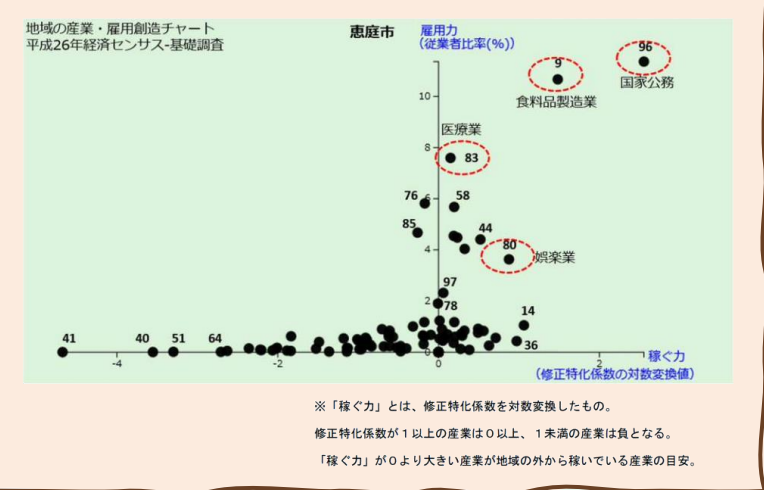


図5 地域の産業・雇用創造チャート(平成26年経済センサス-基礎調査)



また、恵庭市の人口にも着目してみましょう。2019年9月に人口7万人に達した一方で、全国的な少子高齢化及び人口減少の流れから、将来的に恵庭市も人口減少に転じ、高齢者の割合が増えることが想定されます。「恵庭市人口ビジョン2021」によると、最も流出するのは就職先を求めて市外に転出する若年層であり(図3)、恵庭市内の学校で学んだ90%以上の人が市外で就職しているという結果も出ています。また、昼夜間人口比率の低さからみられる雇用機会の少なさは(図4)、雇用創造チャート(図5)において、特に娯楽業に顕著に表れています。観光客の増加率も近年横ばいが続いていることから、若年層に向けた創造的な雇用創出を促し、かつ市外に恵庭市の魅力を発信できるような、住民と観光客、未来の住人の懸け橋となる事業を考えました。

3. 二つのホテルの提案

懸け橋...花です！花に関するノウハウや情熱、ガーデニングが好きな人が集積する場として、はなふるは拠点になります。

そこで2つのホテルの計画を提案します。

FLOWER Hotel for All すべての人に花のホテルを

花の魅力を伝えるホテルです。人がフラワー・ガーデンを歩きながら花の美しさを鑑賞するだけでなく、花に囲まれた恵庭市の魅力を日常生活の中で最大限満喫できるホテルを目指します。

Hotel for All FLOWERS すべての花のためにホテルを

花にとっても優しい町であつたら素敵だと思いませんか？恵庭市では花にもホテルを提供します！

ホテルの建設によって若年層向けの就職先、娯楽業の雇用創出を支え、加えて観光客を惹きつけるきっかけになります。近年、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ちょっと特別なホテルに行くこと自体を観光と考える「ホカンス」が流行っており、2021上半期インスタグラム流行語大賞に選ばれました。このポテンシャルと花はどんな化学反応を起こすでしょうか。

4. FLOWER Hotel for All

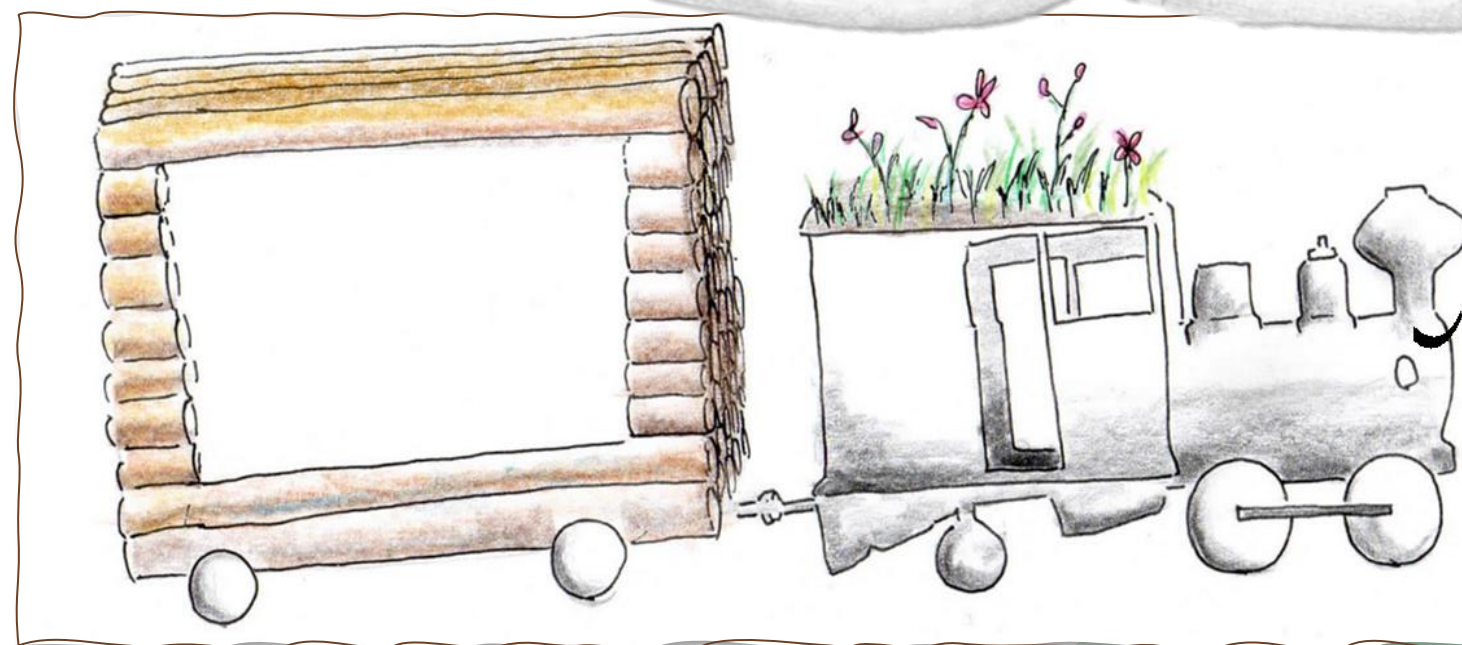


花瓶の中はいつか？をコンセプトにフラワーベース型の透明感あふれるホテルをコンセプトにフラワーベース型の透明感あふれるホテルデザインになっています。実際に花瓶の下部の窓ガラスを二重にして中に水を流すことで、花に囲まれながら、私たち自身も花になったような気分が味わえる遊び心を取り入れています。

恵庭市に住むこと、それは花と共生することを意味します。はなふるのピクニックガーデンにコテージを点在させ、花の気持ちに心を寄せながら、花と共に生きる（泊まる）場になります。はなふるや町の景観を壊さず、花の生命力を人間や町の隅々に宿らせることで、町の活性化を目指します。

更に、はなふるの市町村コンテナ周辺に、「FLOWER Pharmacy（花の薬局）」を設置します。勉強や仕事、育児などでチョット疲れを感じた時、人間関係に悩んだ時、気持ちに余裕がない時など、「花の薬局」に立ち寄ってみませんか？フラワーコーディネーターがはなふるに咲いているあなたにぴったりの花やその花言葉などを紹介してくれるでしょう。

かつて恵庭市には林業の発展を支えた「森林鉄道」が走っていました。このホテルはそんな鉄道をモチーフにしてデザインされました。かつて木材を積んでいた貨車の中で泊まれることは、寝台列車を思い出させ、訪れる人をワクワクさせるでしょう。



地面に植わっている花を見る他に、花で楽しめるアイデアを考えてデザインしたホテルです。恵庭市の花をドライフラワーにして部屋に飾る、おしゃれさを追求したホテルです。



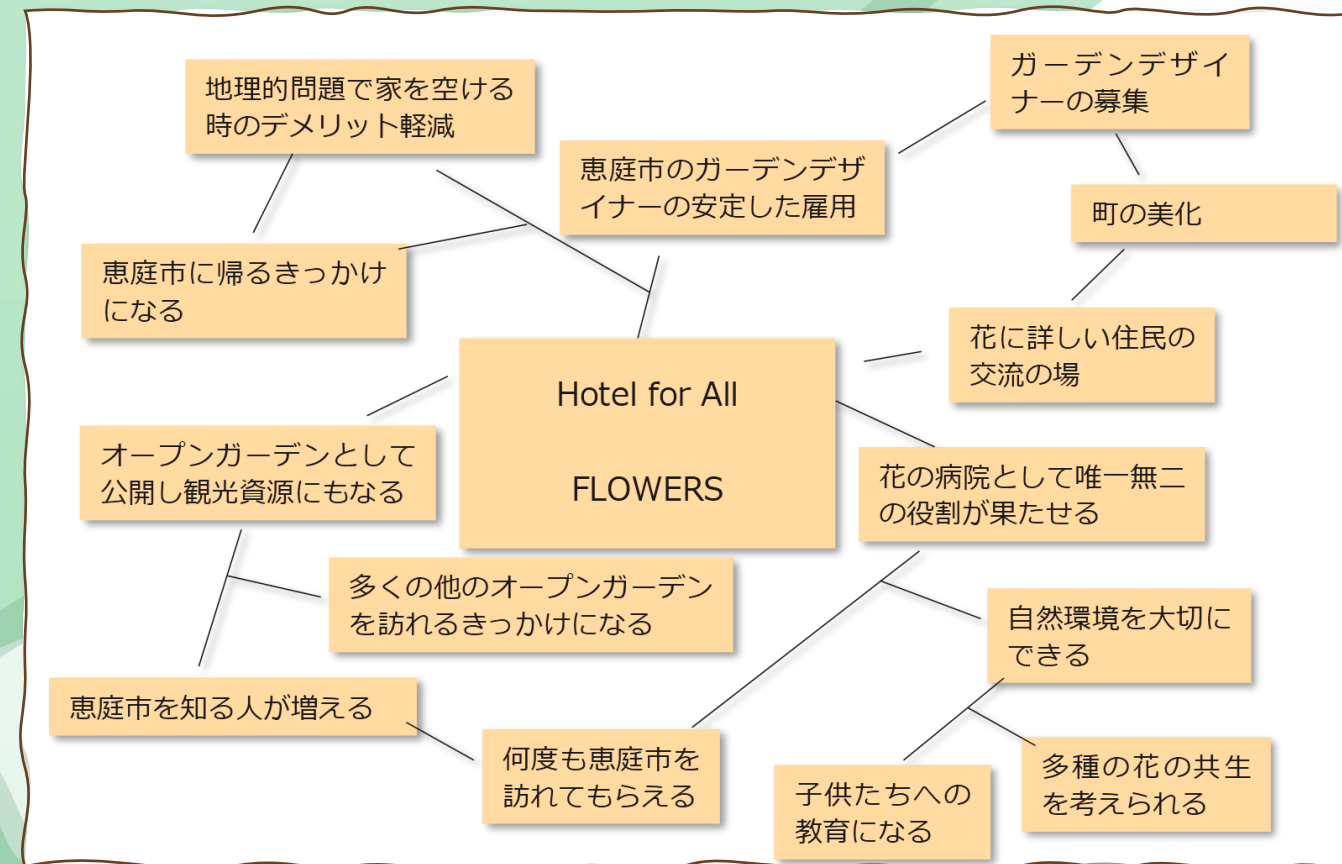
5. Hotel for All FLOWERS

恵庭市に少しでも愛着をもつていただければ、市外からまた戻ってくるきっかけになってもらえたら、という願いと共に花を長期間預けられる保管、保全の場所になります。さらに、フラワーマイスターが、ガーデニングのノウハウを活用し、草花の治療にもあたります。住民や専門家がお互いに協力し合う交流の場も生まれ、このホテルを一般公開することで観光資源の一部にもなります。人やペットにも病院があるように、草花にも何か異変が起きた時に頼れる特別な場所がある。それは恵庭市固有の魅力となって市内外にも発信されます。また、様々な人が持ち寄った花々はいつしかはなふるの風景になり、その移り変わりも楽しめます。

6. 将来の展望

二つのユニークなホテルは、恵庭市の発展の両輪となります。恵庭市の将来はどうなっているでしょう。どちらのホテルも、市内の雇用創出と外部への発信力を高めるという双方のメリットを併せもっています。住民も観光客に対し恵庭市の唯一無二の魅力を伝えることで、改めて地域の文化的資源の価値を再認識し、その保護や保全の意識を高めたり、恵庭市に定住する動機にもなるかもしれません。2つのホテルが生み出す新たな価値は、観光客と地域住民との間に好循環サイクルを作ります。さらにこの計画を起爆剤として、花とアートを融合した新たなエンターテインメントの可能性も模索していきたいです。

花であふれる生き生きとした恵庭市は、官民の垣根を越えて花の生命力を町全体に行き届かせます。花で溢れた恵庭市に、その生来の力が最も輝けるように開発すること、そしてそれが外と中の双方向により良い恩恵をもたらすことがこのホテルが目指す未来です。そこには、花と共に生きる恵庭市の土地を愛し、恵庭市を住みやすいと思って暮らす住民と、新たな花の魅力に惹きつけられて恵庭市を訪れる人々の姿があるのです。



参考文献：

- 恵庭市「恵庭市人口ビジョン2021」 honpeneniwasijinkoubijon2019-12.pdf (city.eniwa.hokkaido.jp) (最終閲覧：2022年4月18日)
- 恵庭市ホームページ https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/ (最終閲覧：2022年4月18日)
- 花の拠点（はなふるホームページ） https://hanafuru.jp/ (最終閲覧：2022年4月18日)
- 恵庭市「平成30年度恵庭市市民意識調査結果報告書」 https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/material/files/group/12/H30citizenishikideslt.pdf (最終閲覧：2022年4月18日)